

八重山食肉センターと同様にHACCに基づく衛生管理の高度化に対応した生乳加工施設「石垣市みるくセンター」が令和4年度から稼働します。このことにより、学校給食の安定供給が可能となるだけでなく、牛乳・乳製品の新たなブランド化を図ることも可能となりますので、本市といたしましても、この取組を推進してまいります。

水産振興につきましては、登野城漁港の機能強化として、令和3年度は西第3波除堤の整備を実施いたしました。令和4年度は、就労環境の改善を図るため浮桟橋の整備を行ってまいります。また、船越漁港の機能強化として、令和3年度は第一防波堤の改良を実施いたしました。令和4年度は、物揚場の改良工事を実



石垣市みるくセンター

施してまいります。また、漁業における資源管理や養殖なども重要であることから、令和3年度には、沖縄県漁業再生支援事業において、浮漁礁の設置やモズク養殖技術の向上など漁業生産活動を支援し、漁業の再生を図ってまいりました。令和4年度も継続して漁業生産活動への支援に取り組んでまいります。

そして、地産地消と食育の観点から、とうがんや沖縄紫、アグー豚、もずく、ヤイトハタなど地元産食材を学校給食に取り入れてまいりました。特にコロナ禍においては、生産者や事業者支援も兼ねて積極的に実施してまいりました。令和4年度もこの取組を継続し、地産地消を推進してまいります。

商業分野につきましては、コロナ禍で苦境に立たされた市内事業者の販路拡大に向け、石垣市商工会などの関係団体等と連携し、新たな販路開拓及び商品開発等を強力にサポートする「地域活性化プログラム」を観光支援も目的にスタートさせ、「石垣島フェア」を開催しました。令和4年度も関係団体と連携し、「事業復活支援金」などの各種補助制度や支援の情報提供など、市内事業者への支援・相談に積極的に取り組んでまいります。また、プレミアム付商品券の第2弾を実施し、影響を受けた事業者の応援と地域内消費の喚起を図ってまいります。今回は、これまでの「地域応援商品券」に加え、観光関連店舗で使える「観光応援商品券」や理容室・美容室で使える「理容・美容商品券」となっております。これらを実施することにより、観光客が本格的に戻ってくるまでの間、市民とともに地域経済を回しながら、コロナ禍からの一日も早い景気回復を目指してまいります。

工業分野におきましては、本市には国の伝統工芸品である八重山上布や八重山ミンサー織があります。これらにつきましては、担い手不足が課題となっていることから、継続して人材確保の支援に取り組んでまいります。更に、同じ手仕事分野であります陶芸分野に

対しては、支援強化に取り組んでまいります。具体的には、ものづくり分野における功績に対し、本市独自の表彰や認定制度を創設するとともに、これまで石垣市特産品振興会が行ってきた特産品認定の仕組を展覧させ、石垣市商工会と連携し、特産品の新たなブランド認定制度の創設に取り組んでまいります。

まちづくりにつきましては、新たな都市拠点をつくるため、これまで空港跡地において区画整理事業の導入に向け作業を進めてまいりました。令和4年度は、当該事業の都市計画を決定し、事業認可に向けて取り組んでまいります。

市道の整備につきましては、令和3年度に、市道旧空港跡地線を県道石垣空港線から市道慶田山線までの一部で暫定的に供用を開始いたしました。このことにより、空港跡地の西側から大浜集落へ、空港跡地を迂回することなくアクセスが可能となり、利便性が大きく向上いたしました。令和4年度は、舗装や歩道などを整備してまいります。

市役所旧庁舎の跡地利用につきましては、地域の賑わいを創出するため「市民と来訪者の交流拠点」をコンセプトとした施設の整備に向け、令和4年度に開発事業者を決定してまいります。

市民協働のまちづくりにつきましては、令和3年度には、本市で2回目となる市民憲章の全国大会を開催いたしました。令和4年度は、花植えを行うボランティアに対し助成する「花いっぱい事業」を拡充し、市民参画、市民協働事業として、市街地の道路や新庁舎周辺を色とりどりの花々で飾ってまいります。

2. 一人ひとりの個性を尊重し、発揮するまち

本市では、平和を希求し、違いを認め合い、それぞれの個性が発揮され、市民一人ひとりが輝くまちづくりを目指してまいりたいと考えております。令和4年度においても、その取組をしっかりと進めてまいりたいと考えております。